

成田市生き物調査 (市民調査)

調査の手引き



成田市の花 アジサイ

平成 26 年 6 月

成田市環境部 環境計画課

目 次

使い方の解説	1
モグラ	4
タヌキ	6
イタチ	8
アライグマ	10
シラサギの仲間	12
キジ	14
カワセミ	16
クサガメ	17
カナヘビ	18
アオダイショウ	20
シュレーゲルアオガエル	22
イモリ	24
メダカ	26
ドジョウ	28
ブルーギル	30
サワガニ	31
オニヤンマ	32
クマゼミ	33
クワガタムシの仲間	34
ホタルの仲間	36
ミノムシの仲間	37
セリ	38
オオキンケイギク	39
ヤマユリ	40
調査時の注意点	41
安全管理・事故防止	42
危険な生き物の例	44

「成田市生き物調査」のすすめかた

はじめに

成田市は、豊かな自然と風土に恵まれており、多くの生き物が生息しています。市町村合併による市域の拡大や、都市化、生活様式の変化などに伴い、これらの生き物も変化しているものと考えられます。

「成田市生き物調査」では、市民の皆様方の協力により、成田市全域を対象として、生き物の生息状況を把握すると同時に、自然環境に対する興味や啓蒙促進を目的としています。

こんな生き物を見つけよう！

次の生き物を見つけてください。これらは、いろいろな環境にいる生き物です。いろいろな場所を探して、たくさんの生き物を見つけて報告してください。



その他の生き物も見つけよう！

決められた生き物以外でも、「こんな生き物がいたよ」というものがあれば、記入してください。

調査シートに記入しよう！

生き物を見つけたら、調査シートに記入しましょう。

調査シートの順に従って、「生き物の名前」「数」「見つけた場所」「見つけた日付」を記入します。調査していて気づいたことがあれば、記入してください。

動物編の記入例

見つけた生き物の場所の記入欄→

見つけた生き物の記入欄→

動物編 3 成田市生き物調査 調査シート 3. 根木名川中流域

氏名 調査員の氏名を記入 調査員 No. 調査員証の番号を記入 調査シート No. 番号を記入 1ヶ月分の渡し

記入例

生き物を見つけた場所の番号を黒印に記入してください。

番号	日付	生き物の名前	数	見つけた状況 (場所と確認内容を○で囲んでください)
1	平成 26年 7月13日	カワセミ	1	河川 池沼 水田 草地・畑 樹林 公園 市街地 生体 死体 鳴き声 ※その他()
2	平成 26年 7月13日	シラサギの仲間	3	河川 池沼 水田 草地・畑 樹林 公園 市街地 生体 死体 鳴き声 ※その他()
3	平成 26年 7月19日	カナヘビ	1	河川 池沼 水田 草地・畑 樹林 公園 市街地 生体 死体 鳴き声 ※その他()
4	平成 26年 7月20日	モグラ	1	河川 池沼 水田 草地・畑 樹林 公園 市街地 生体 死体 鳴き声 ※その他()
5	平成 26年 7月25日	クマゼミ	1	河川 池沼 水田 草地・畑 樹林 公園 市街地 生体 死体 鳴き声 ※その他()
6	平成 年 月 日			河川 池沼 水田 草地・畑 樹林 公園 市街地 生体 死体 鳴き声 ※その他()

気づいたこと (今月のまとめ)
コサギが魚を食べていた

※その他：足跡、爪痕、糞、糞痕、フン等

見つけた場所の番号

番号	日付	生き物の名前	*株の数	見つけたまわりの場所 (○で囲んでください)
1	平成26年 7月13日	ヤマユリ	3	河川 池沼 水田 草地・畑 樹林 公園 市街地
2	平成26年 7月19日	セリ	+	河川 池沼 水田 草地・畑 樹林 公園 市街地
3	平成26年 7月20日	オオキンケイギク	8	河川 池沼 水田 草地・畑 樹林 公園 市街地
4	平成 年 月 日			河川 池沼 水田 草地・畑 樹林 公園 市街地
5	平成 年 月 日			河川 池沼 水田 草地・畑 樹林 公園 市街地

10株より多い場合は、「+」と記入してください。

植物編の記入例

←見つけた生き物の記入欄

モグラ モグラ科



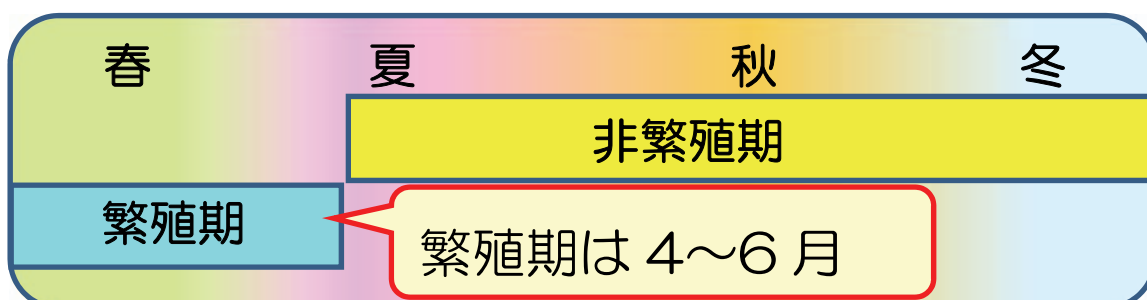
- 大きさ：12～16cm
- 体の色：灰褐色～暗褐色
- 食べ物：ミミズなど
- 主に見つかる場所
畑・草地・林・河川敷

●^{とくちょう}特徴

- ・毛はビロード状。前足は土を掘るため、大きく、爪も長い。
- ・普段土の中にいるため、目は小さく、ほとんど見えない。
- ・生きている姿を見ることはほとんど出来ないが、モグラ塚やトンネル（坑道）はよくみられる。

●観察のポイント

- ・畑や草地などにつくられたモグラ塚と呼ばれる塚やトンネル（坑道）を見つけやすい。
- ・山地よりも、土の柔らかな平地に多い。



見つけやすいモグラの^{こんせき}痕跡（フィールドサイン）

モグラ塚



モグラ坑道（トンネル）



タヌキ イヌ科



- 大きさ：50～60cm
- 体の色：こげ茶色
- 食べ物：雑食性
- 主に見つかる場所
畑・水辺・林など

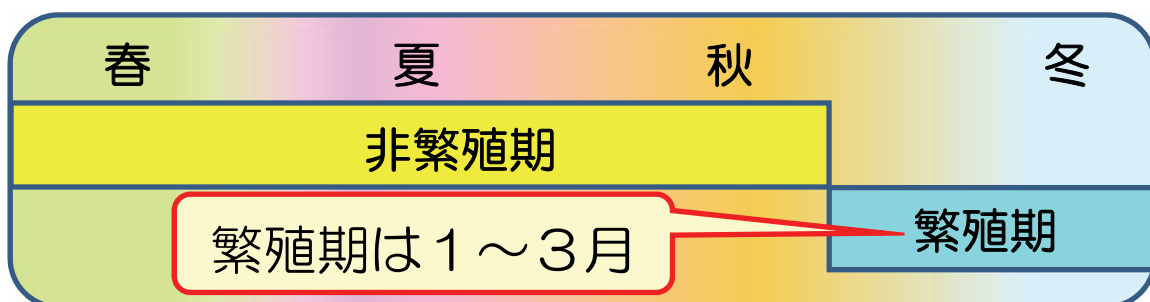
とくちょう

● 特徴

- ・ 耳が丸く、目のまわりが黒い。

● 観察のポイント

- ・ 水際の砂泥上では足跡が良く見つかる。
- ・ 複数の個体が同じ場所に糞ふんをするトイレのような場所があり、「ためふん」と呼ばれる。
- ・ 比較的人家のそばにも出現する。



見つけやすいタヌキの^{こんせき}痕跡（フィールドサイン）

ためいん



足跡



イタチ イタチ科



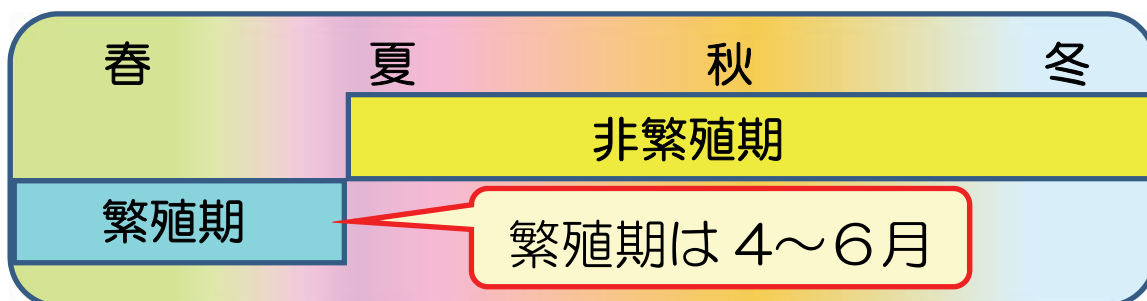
- 大きさ：23～35cm
- 体の色：茶色
- 食べ物：ネズミやザリガニ
- 主に見つかる場所
畑・水辺・林など

●^{とくちょう}特徴

- ・体が細長く、足が短い。
- ・顔は黒っぽく、アゴ下は白っぽい。

●観察のポイント

- ・水際の砂泥上では足跡が良く見つかる。
- ・足跡は指を広げた状態をつく。
- ・比較的人家のそばにも出現する。



見つけやすいイタチの^{こんせき}痕跡（フィールドサイン）

いん
糞



足跡



アライグマ

アライグマ科



- 大きさ：約 60cm
- 体の色：灰色
- 食べ物：果実や虫
- 主に見つかる場所
畑・住宅地・社寺・
林など

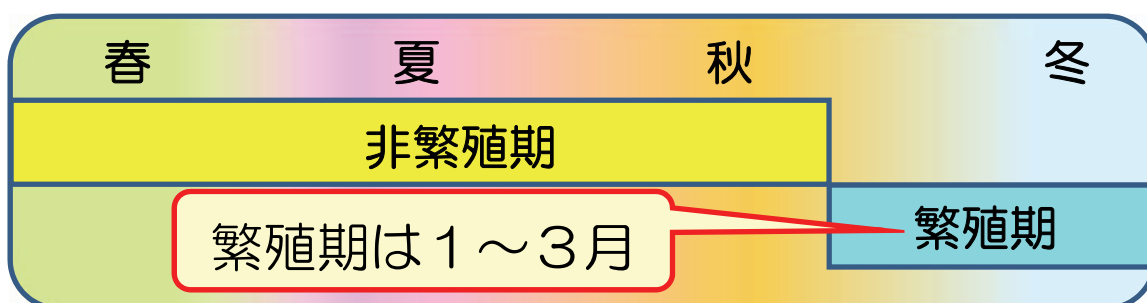
とくちょう

●特徴

- ・尾は長く（20～40cm 程度）、リング状の縞模様。
- ・眉間に黒い筋、目の周りは黒い。
- ・全体的に白っぽく、特に足は白い部分が多い
- ・耳は大きく、白く縁取られる。
- ・特定外来生物に指定されているため、生かしたまま移動させることはできない。

●観察のポイント

- ・足跡は5本の指がはっきりわかれ、人の手に似ている。



見つけやすいアライグマの^{こんせき}痕跡
(フィールドサイン)

足跡



シラサギの仲間 サギ科



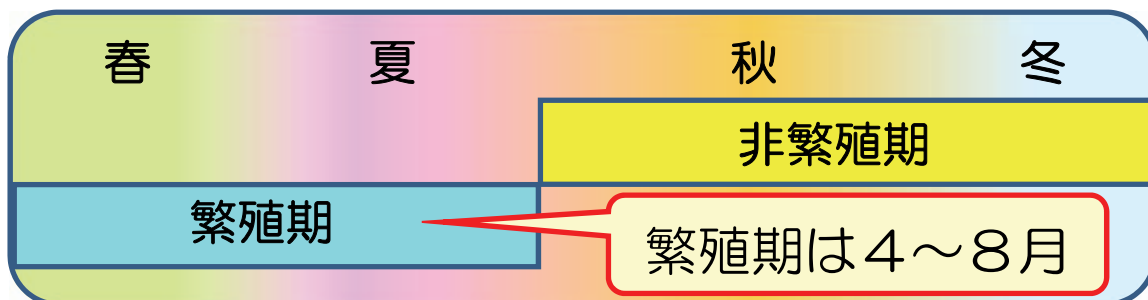
- 大きさ：60～90cm
- 体の色：白
- 食べ物：魚やザリガニ
- 主に見つかる場所
河岸や水田などの水辺

●とくちょう特徴

- ・体全体が白色で良く目立つ。

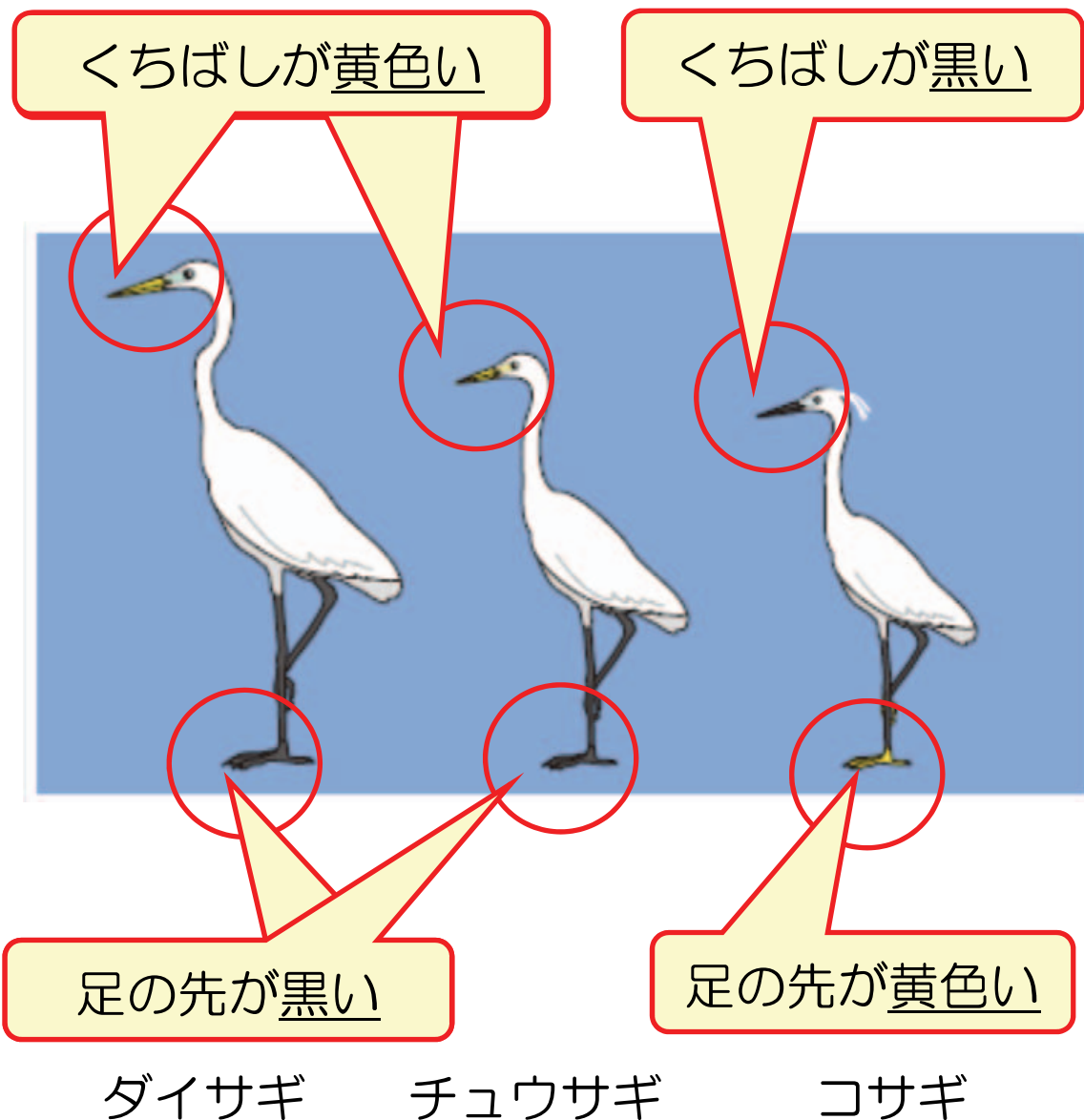
●観察のポイント

- ・川岸や水田などの水辺に多い水鳥。
- ・水の中を歩きながら、えさを探す。
- ・繁殖期には、雑木林や竹林などにおいて、集団で巣をつくり「コロニー」と呼ばれる。
- ・コロニーがある場所は、地面が大量の糞いんで白くなっていることがある。



シラサギの仲間の区別点

- シラサギの仲間は、大きさでも区別できる。
- くちばしの色、足の色などで区別する。



キジ

キジ科



- 大きさ：オス：80cm
メス：60cm
- 体の色：オス：顔は赤く、体は青灰色～緑色
メス：茶色
- 食べ物：草の実や虫
- 主に見つかる場所
畑・草地など

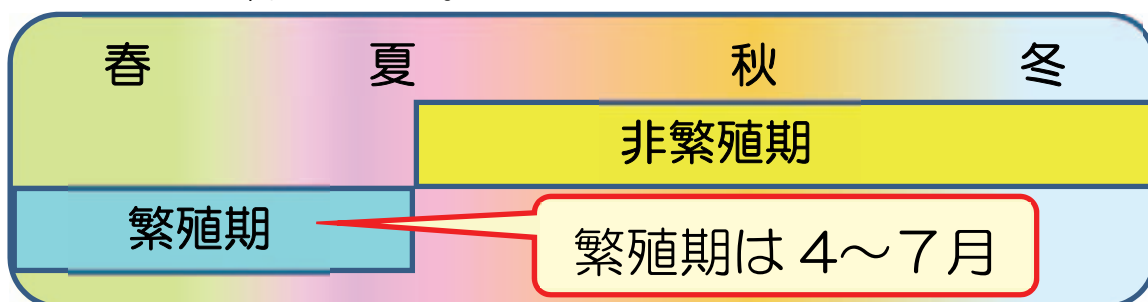
とくちょう

● 特徴

- ・ 開けた草地で多く見られる日本の国鳥。
- ・ オスはカラフルで派手だが、メスは全体に茶色く地味。

● 観察のポイント

- ・ 草地にいて、「ケーン・ケーン」と大きな声で鳴く。
- ・ 草陰にじっとしていることが多いため、見つけにくい。
- ・ 近くまで行くと「バサバサッ」と大きな羽音を立てて飛び立つ。



キジのオスとメスの違い

オス



メス



カワセミ カワセミ科



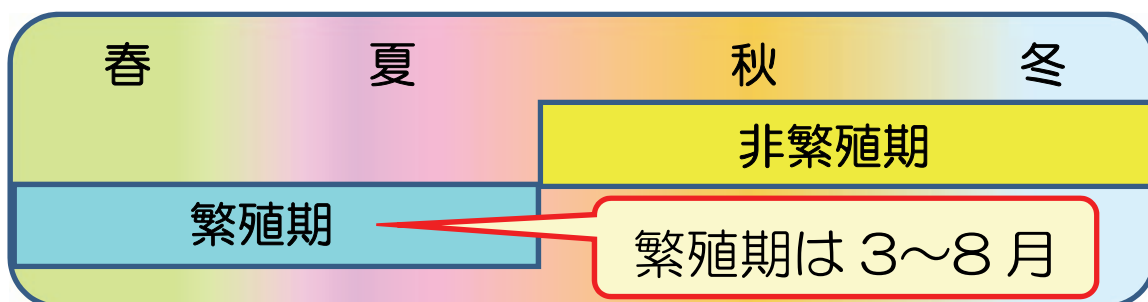
- 大きさ：約 17cm
- 体の色：青緑とオレンジ
- 食べ物：魚やカエル
- 主に見つかる場所
河川などの水辺

●とくちょう特徴

- ・コバルトブルーに輝く背中とオレンジ色のお腹とくちょうが特徴的な鳥。

●観察のポイント

- ・水辺の小枝や杭に止まって、じっと水面を見つめ、餌の魚を見つけるとダイビングしてつかまえる。
- ・「ツィーツ」と鳴きながら川に沿って水面上空を飛ぶが、飛び去った後、しばらく待っていると戻ってくることも多い。



クサガメ イシガメ科



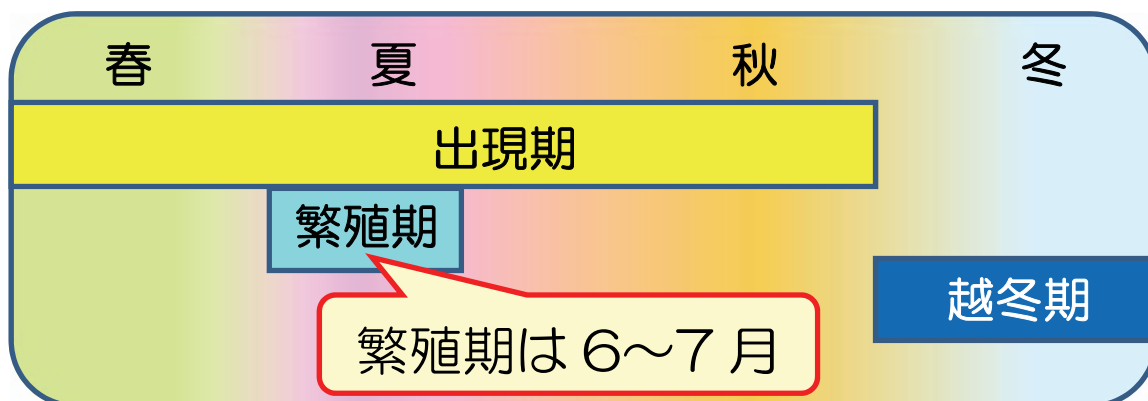
- 大きさ：20～25cm
- 体の色：黒
- 食べ物：魚やザリガニ
- 主に見つかる場所
河川や池沼、水田など

●とくちょう特徴

- こうら甲羅には3本の盛り上がった線がある。
- こうら甲羅のふちは、ほぼなめらか。

●観察のポイント

- 日当たりの良い、浅い池や水たまり、緩やかな流れを好む。
- 早春から晩秋にかけて、岸辺の倒木や石の上等で日光浴している姿を見かけることが多い。



は虫類

カナヘビ カナヘビ科



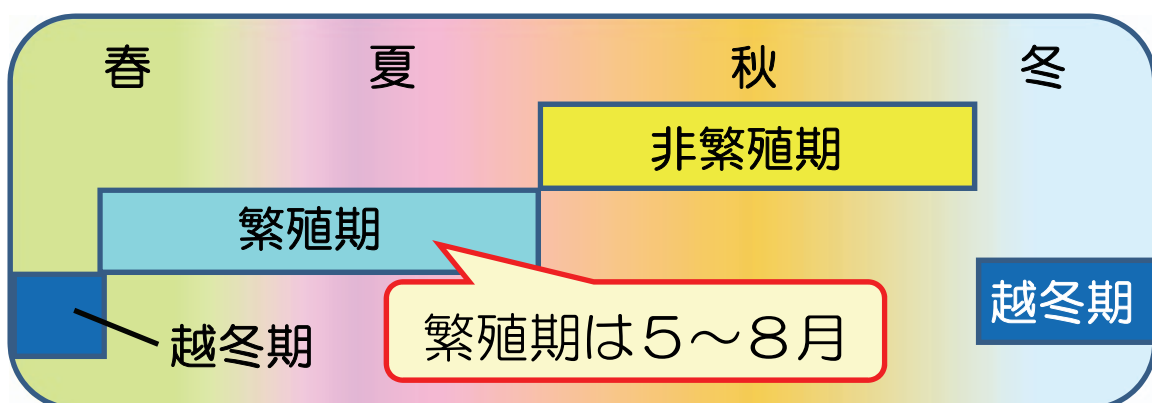
- 大きさ：16～23cm
- 体の色：茶色
- 食べ物：昆虫など
- 主に見つかる場所
草地ややぶ、庭先など

とくちょう ●特徴

- ・体はガサガサして光沢がない。
- ・足の指が長い。

●観察のポイント

- ・日当たりの良い草地に多い。
- ・トカゲと違って、体に光沢がない。
- ・トカゲよりも体がガサガサした印象を受ける。



カナヘビに良く似た仲間の区別点

ヤモリ



目は飛び出る

かべや窓に、はりつくことができる

体には光沢がない

トカゲ



体はすべすべしていて光沢がある

アオダイショウ ナミヘビ科



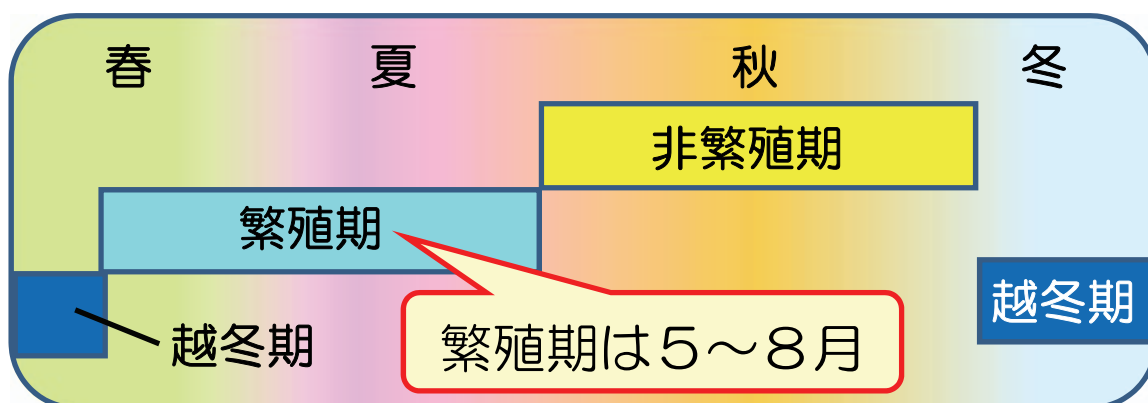
- 大きさ：0.9～1.8m
- 体の色：灰緑色
- 食べ物：小鳥やネズミ
- 主に見つかる場所
森林や農地

●^{とくちょう}特徴

- ・本州では最も大きなヘビ。
- ・体は「青大将」の名前のとおり、青味（緑）がかった灰褐色^{はいかつしよく}で、薄いしま模様がある。

●観察のポイント

- ・人家周辺でよく見られ、山奥などで見かけることは少ない。
- ・昼間に活動し、夜は休息している。



ヘビの仲間の区別点

シマヘビ



ヤマカガシ



シュレーゲルアオガエル アオガエル科



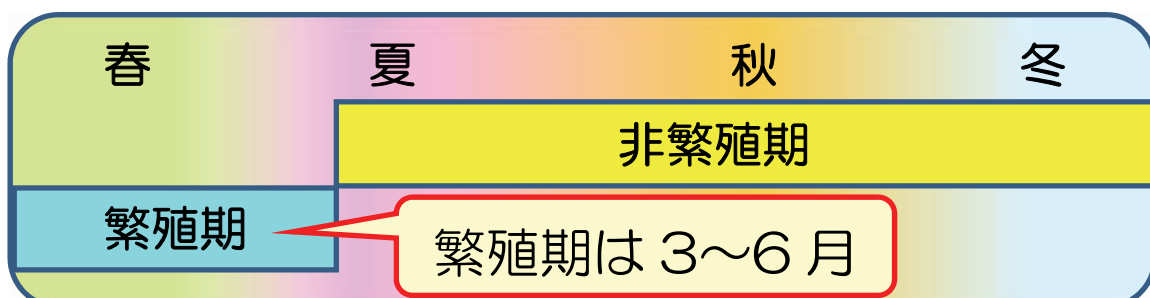
- 大きさ：3～5.5cm
- 体の色：明るい黄緑色
- 食べ物：昆虫など
- 主に見つかる場所
水田などの水辺

●^{とくちょう}特徴

- ・背中^{うしろ}は緑でお腹^{はら}は白い。
- ・指先に吸盤がある。
- ・「コロコロッ」という甲高い鳴き声で鳴く。

●観察のポイント

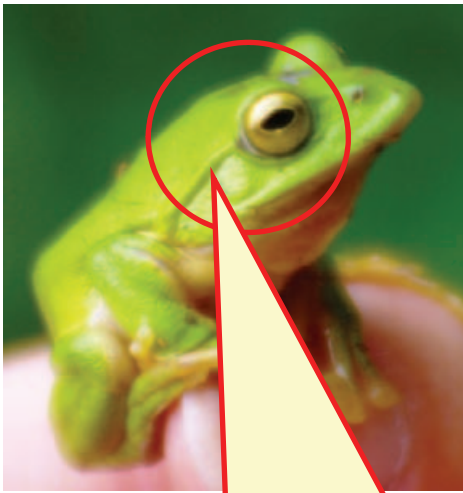
- ・春先に、水田の畔の中から流れ出した白い泡状^{らんかい}の卵塊が、分かりやすい。
- ・アマガエルに似ているが、目の所に黒い線が無い点で区別できる。
- ・虹彩^{こうさい}（黒目のまわり）は黄色。



シュレーゲルアオガエルの^{らんかい}卵塊

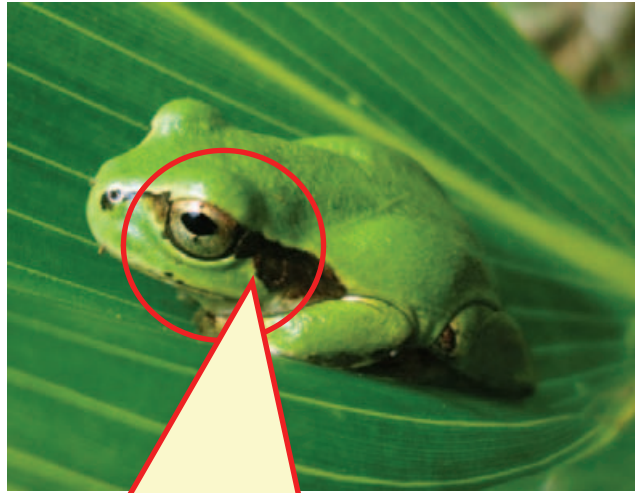


シュレーゲルアオガエルとアマガエルの区別点



目の所に黒い線がない

シュレーゲルアオガエル



目の所に黒い線がある

アマガエル

イモリ イモリ科



大きさ：8～13cm

- 体の色：背中は黒、お腹は赤
- 食べ物：ミミズなど
- 主に見つかる場所
水田や緩い流れなどの水辺

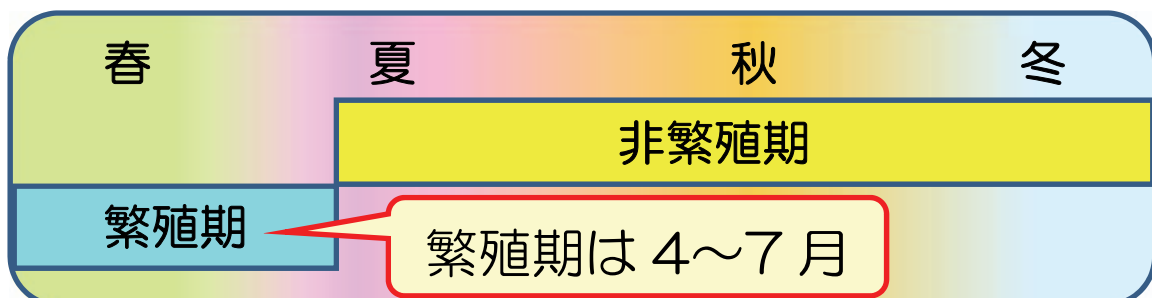
とくちょう

●特徴

- ・背中は黒でお腹は赤い。
- ・体に付いているぬめりは毒を含む（触ったら必ず手を洗う）。

●観察のポイント

- ・産まれたばかりの子供には、前足の付け根付近に外えらがある。



イモリとサンショウウオの区別点

イモリ



お腹が赤い

トウキョウサンショウウオ



お腹が灰色

メダカ メダカ科



- 大きさ：約 4cm
- 体の色：黄褐色
- 食べ物：
プランクトンなど

●主に見つかる場所

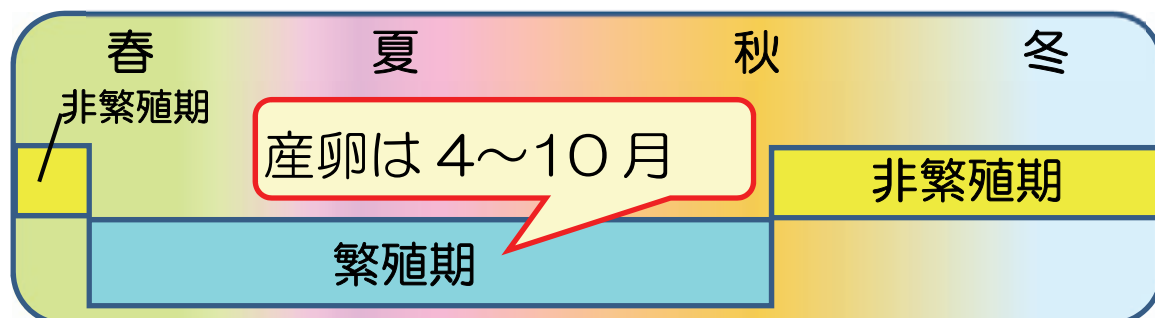
水田や用水路、浅い池や沼などの水辺

●特徴

- ・下あごがわずかに突き出る。
- ・水質汚濁や水温変化には比較的強いが、農薬や化学肥料にはきわめて弱い。
- ・環境省レッドリストで「ぜつめつきく絶滅危惧IB類」に選定されている。

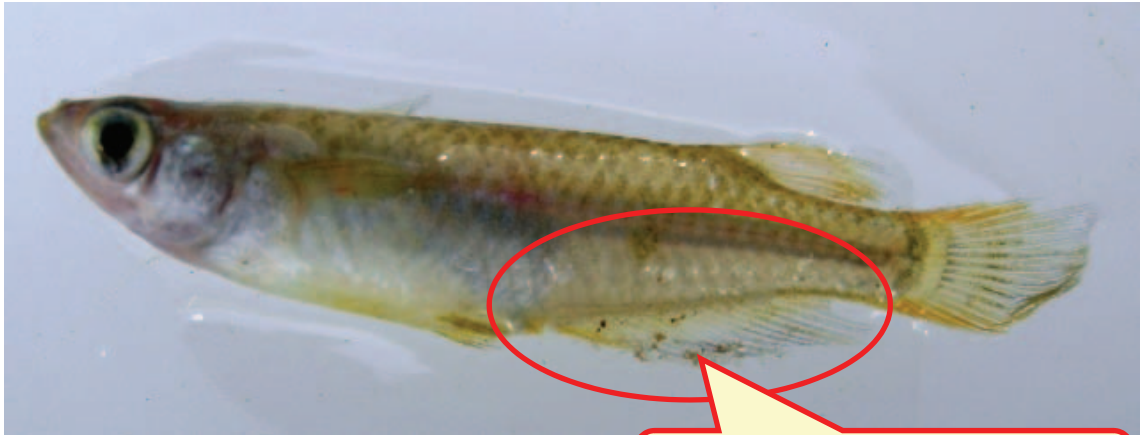
●観察のポイント

- ・昼間に活動し、夜はやや深い場所や水草の間に移動する。
- ・水草に産卵するため、水草が生えている流れのない水域で多く見られる。



メダカによく似た魚との区別点

メダカ



しりびれが大きい

カダヤシ



しりびれが小さい

ドジョウ ドジョウ科



- 大きさ：
オス：約 12cm
メス：約 18cm

- 体の色：はいかつしよく 灰褐色

- 食べ物：底生動物、藻類、水草など
- 主に見つかる場所

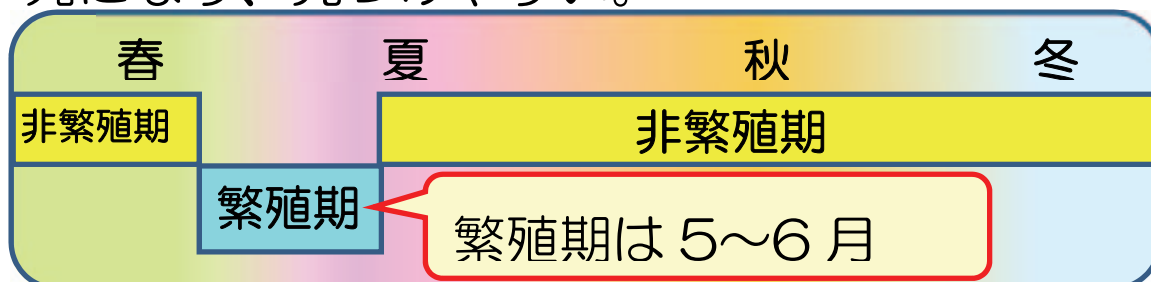
水田や用水路、流れの緩やかな河川の泥底^{どろそこ}

- とくちょう 特徴

- 体は細長い筒型で、10本の口ひげがある。
- 体に不明瞭な暗色の斑紋^{はんもん}を持つことがある。
- 環境省レッドリストで「情報不足」に選定されている。

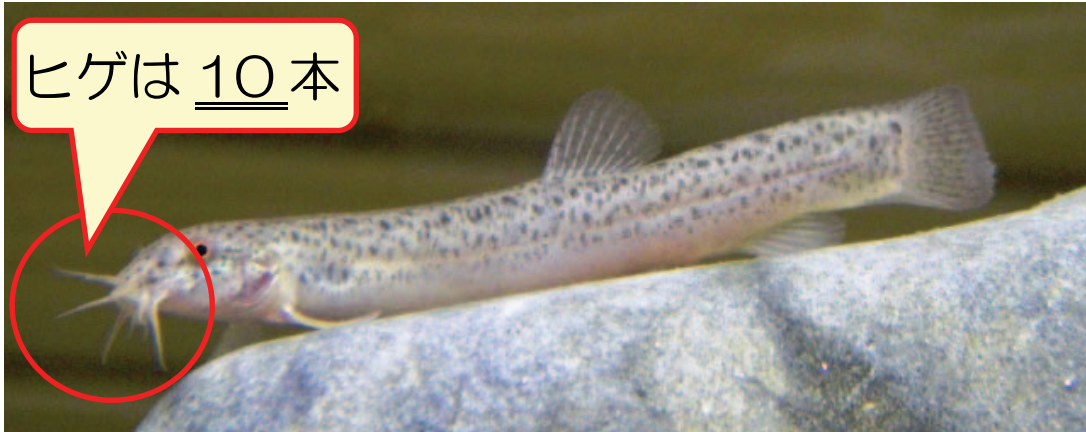
- 観察のポイント

- どろそこ 泥底の水草の根元や石の下に隠れていることが多い。
- 梅雨時に産卵するため、この時期には動きが活発になり、見つけやすい。

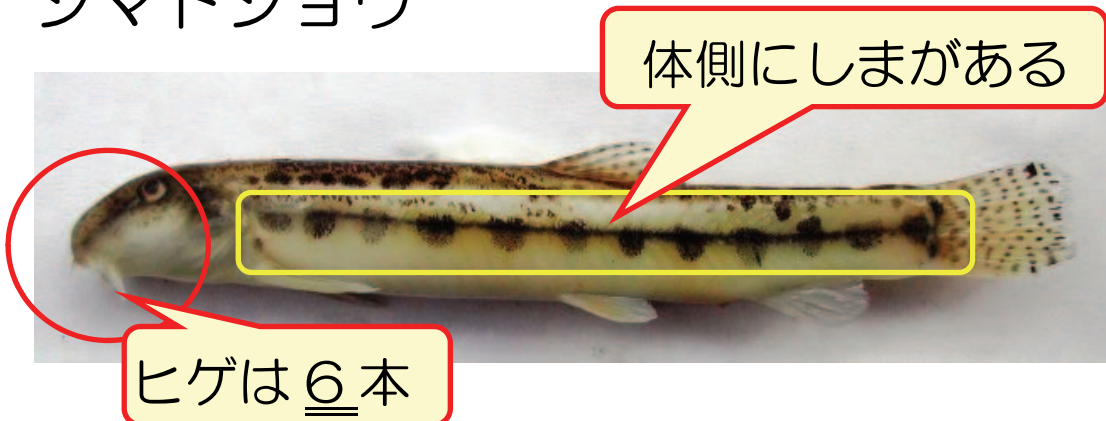


ドジョウの仲間の区別点

ドジョウ



シマドジョウ



ホトケドジョウ



ブルーギル サンフィッシュ科



- 大きさ：約 25cm
- 体の色：
青味がかった銀色
- 食べ物：
小魚や底生動物

●主に見つかる場所

池や沼、流れの緩やかな川岸の植物が水につかっている場所

●^{とくちょう}特徴

- ・えらぶたに青黒色の斑紋がある。
- ・体に 7～10 本の暗色のしま模様がある。
- ・特定外来生物に指定されているため、生かしたまま移動させることはできない。

●観察のポイント

- ・小型の個体は、水草の間に隠れていることが多い。
- ・流れの早い場所には少ない。



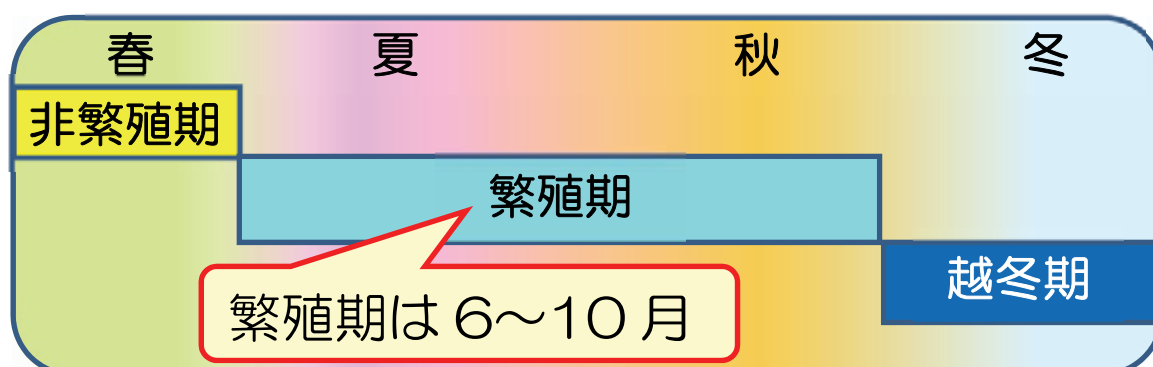
サワガニ サワガニ科



- 大きさ：4～6cm
- 体の色：赤茶色や黒紫色
- 食べ物：ミミズや草など
- 主に見つかる場所
河川などの水辺

●^{とくちょう}特徴

- ・河川上流域の小石や砂が多い場所を好む。
 - ・唐揚げにして食べることもある。
- ### ●観察のポイント
- ・小石や落ち葉の下に隠れていることが多い。
 - ・泥地には少ない。
 - ・冬場には大きな石の下にたくさんの個体が集まっていることがある。
 - ・若く小さな個体は、水の中にいることが多い。



オニヤンマ オニヤンマ科



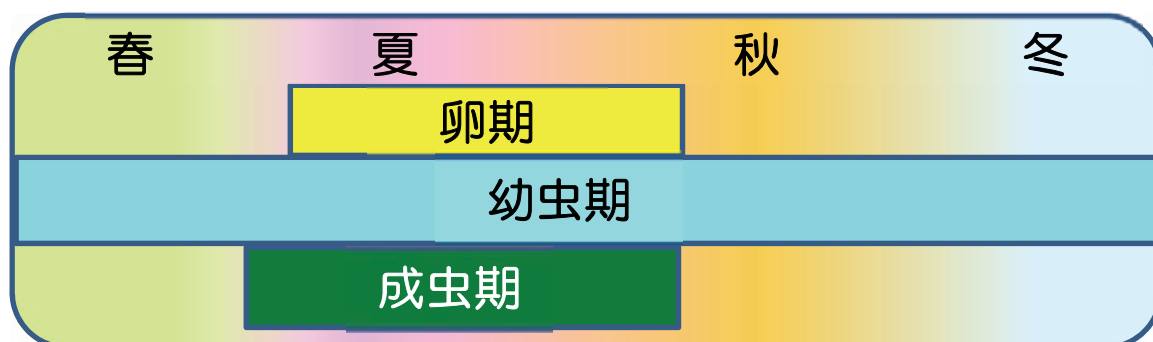
- 大きさ：約 10cm
- 体の色：黒に黄色のしま模様
- 食べ物：昆虫
- 主に見つかる場所
細い流れのある水辺

●^{とくちょう}特徴

- ・日本で最も大きなトンボの一つ。
- ・黒に黄色のしま模様とエメラルドグリーンの大^{とくちょう}きな目が特徴。

●観察のポイント

- ・なわばりを示すため、同じ場所を行ったり来たりすることが多い。
- ・林がそばにある小さな流れや丘の間の湿地に多く見られる。



クマゼミ セミ科



- 大きさ：6cm
- 体の色：黒
- 食べ物：樹木の汁

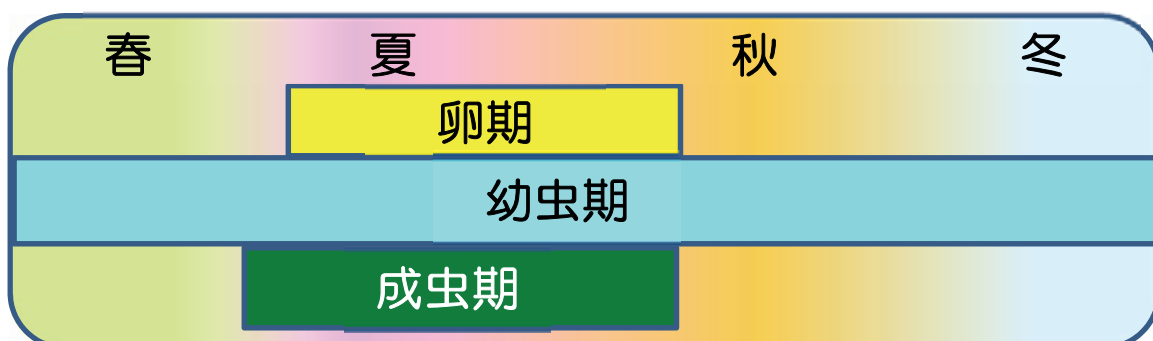
- 主に見つかる場所
樹林地

●^{とくちょう}特徴

- 黒く角張った体^{とくちょう}が特徴。
- はねは透明。
- 「シャンシャンシャン」とうるさく鳴く。

●観察のポイント

- 朝と夕方によく鳴く。
- ^{とくちょう}特徴ある鳴き声なので、他の種と間違えることはない。



クワガタムシの仲間 クワガタムシ科



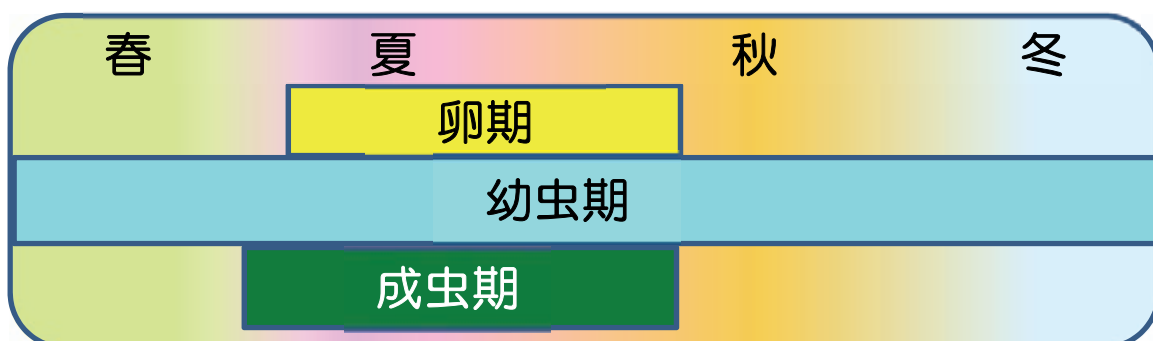
- 大きさ：1.5～5cm
- 体の色：黒～こげ茶
- 食べ物：
成虫は樹液
幼虫は腐った木
- 主に見つかる場所
雑木林やヤナギ林

●^{とくちょう}特徴

- ・オスの持つ大きなあごが^{とくちょう}特徴。
- ・平たい種類は長生きするが、ノコギリやミヤマといった立体的な種類は長生きしない。

●観察のポイント

- ・昼間は木の根元の落ち葉の下などに隠れていることが多い。
- ・樹液の出ている木を探しておくとも、見つけやすい。
- ・外灯などの明かりに飛んでくることもある。



クワガタムシの仲間（オス）の区別点

ノコギリクワガタ

あごは大きく曲が
ってまるい



ミヤマクワガタ

頭がでこぼこして
いて角張る



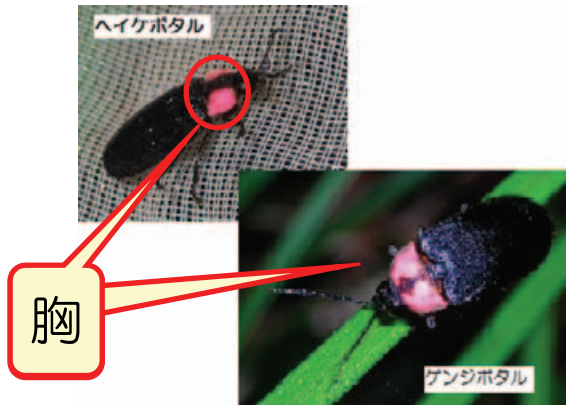
コクワガタ

全体的に平べったい



ホタルの仲間

ホタル科



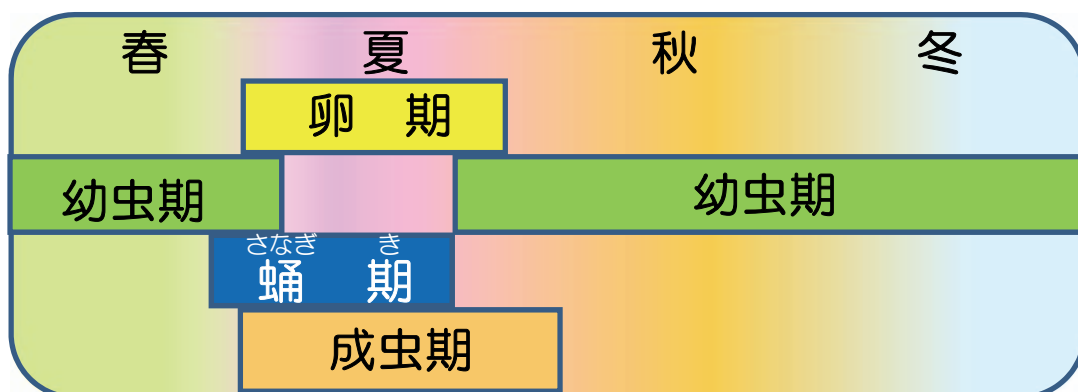
- 大きさ：8～20mm
- 体の色：黒、胸（頭のすぐ後ろ）は赤
- 食べ物：幼虫は淡水性の巻貝を食べる
- 主に見つかる場所
用水路や水田など

とくちょう ● 特徴

- ・ヘイケボタルは体が小さく、胸の黒帯が太い。
- ・ゲンジボタルは体が大きく、胸の黒帯は十字。

● 観察のポイント

- ・流れのゆっくりした用水路や水田で見ることが多い。
- ・周辺に木のある丘の間の湿地の様な場所を好む。
- ・成虫は6～8月にかけて見られる。
- ・幼虫も発光し、4～5月にかけて腹部の発光器から盛んに青黄色の連続光を放つ。



ミノムシの仲間 ミノガ科



- ミノの大きさ：1～4cm
- ミノの色：茶色
- 食べ物：木の葉
- 主に見つかる場所
雑木林、公園など

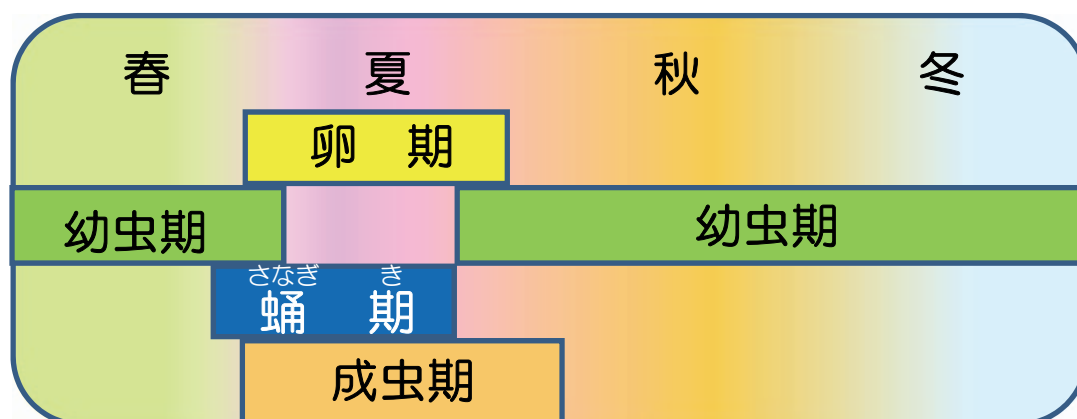
とくちょう

●特徴

- ・幼虫やメスは、枯れ葉や枯れ枝を糸でつづったミノ状の巣を作って、その中にかくれている。

●観察のポイント

- ・冬場に枯れ枝についたミノが見つけやすい。



セリ セリ科



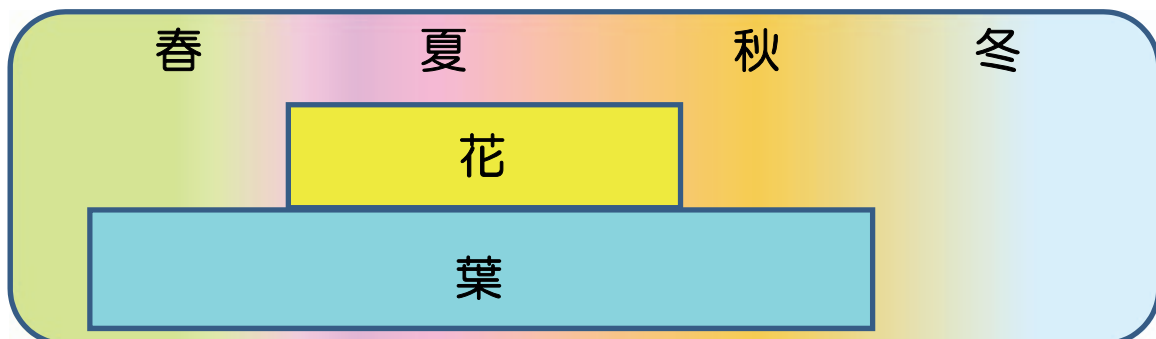
- 高さ：20～50cm
- 花の色：白
- 花の時期：7～8月
- 主に見つかる場所
小川、水田などの湿地

とくちょう
●特徴

- ・葉は1枚の葉が小さく分かれていて、ギザギザしている。
- ・さわった感じはやわらかく、毛はまったくない。

●観察のポイント

- ・夏に白い小さな花をたくさんつける。
- ・湿った場所にまとまって生える。
- ・葉をもむと、強い香りがする。



オオキンケイギク キク科



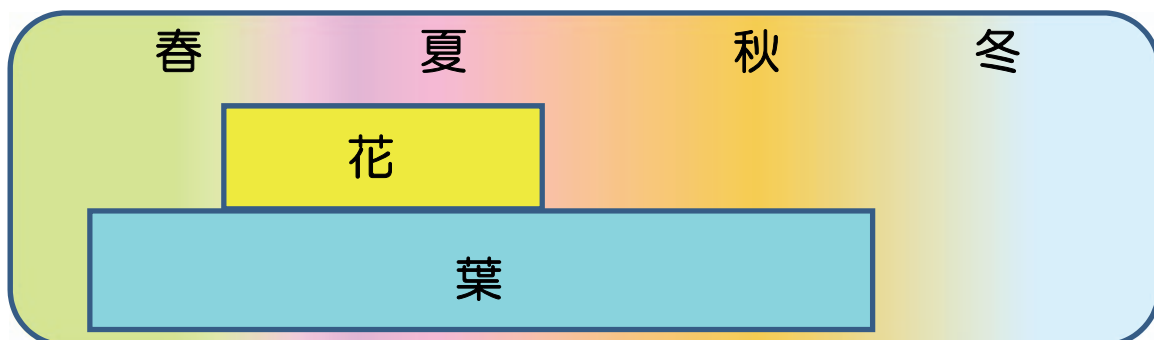
- 高さ：30～70cm
- 花の色：黄色
- 花の時期：5～7月
- 主に見つかる場所
河川敷や道端

●^{とくちょう}特徴

- ・北米原産の外来植物。
- ・園芸植物として導入されたため、花はきれい。
- ・特定外来生物に指定されているため、生かしたまま移動させることはできない。

●観察のポイント

- ・夏に黄色い花をつける。
- ・河川敷や道のまわりに野生化しているほか、^{かたん}花壇などに植えられていることもある。



ヤマユリ ユリ科



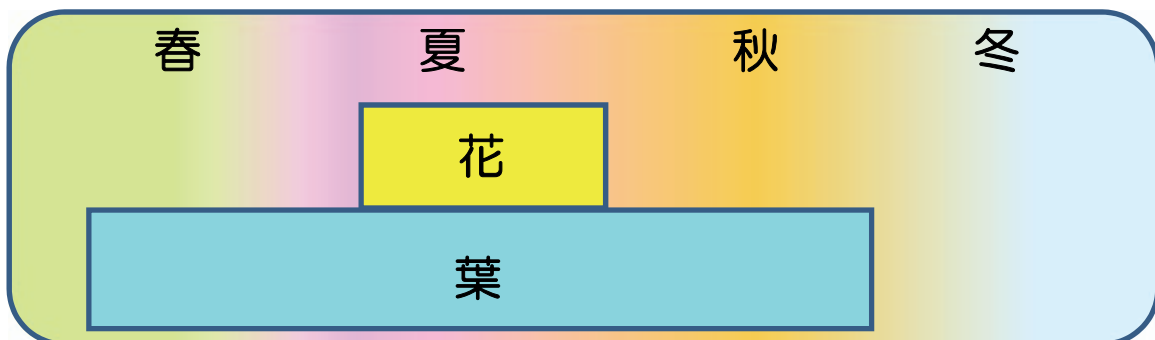
- 高さ：1～1.5m
- 花の色：白
- 花の時期：7～8月
- 主に見つかる場所
林のへりなど

●^{とくちょう}特徴

- ・花は、花弁が外に弧を描きながら広がって、1～10個程度を咲かせる。
- ・花は白く大きい。

●観察のポイント

- ・夏に白い大きな花をつける。
- ・林の中よりも、へりに生育することが多い。
- ・花は、とても強い香りがする。



調査時の注意点

- ① つかまえた生き物は、名前を調べ終わったら逃がしましょう。
- ② 田んぼや畑などの私有地には、勝手に立ち入ったり、踏み荒らしたりしないでください。
- ③ 水際やがけ地などの足場の悪い場所や危険な場所には、無理して近づかないでください。
- ④ 調査時には調査員証を携帯し、トラブルが発生した場合には、すみやかに裏面に記載してある連絡先（セルコ）へ連絡してください。
- ⑤ 今回の調査は、保険の対象とはならないため、安全面・健康面に最大限の注意をはらっていただき、無理のない調査をお願いします。

セルコ連絡先：

(株)セルコ TEL：03-3406-1724
市民調査担当 下田・片桐・石川
(平日 9：30～17：45)

安全管理・事故防止

- ① 調査時には足元に注意し、転倒・落水事故が無いよう気を付けてください。
- ② 移動中や調査中は交通ルールを守り、事故防止に努めましょう。
- ③ 天候には、充分気を配り、雨天時は調査を中止しましょう。
- ④ マムシ、ハチ類、毛虫などの危険生物に対して注意し、生物被害防止に努めましょう。
- ⑤ 帽子を着用し、水分の適度の補給を行うなど、熱中症の予防を行いましょう。

緊急連絡先

<病院>

●成田赤十字病院

TEL 0476-22-2311

千葉県成田市飯田町90-1

<警察> 110

<消防署> 119

万一の時はあわてず、落ち着いて、
すぐに病院へ行ってください。

●熱中症にかかった場合

→ 日陰の風通しの良い涼しい場所で横になってください。あわせて、スポーツドリンクで水分補給をすると同時に、濡れタオルなどで体を拭いてください。

●ハチに刺された場合

→ 針を抜き、血といっしょに毒を絞り出して、抗ヒスタミン軟膏を塗ってください。

●ケムシに刺された場合

→ 絶対にこすってはダメ。セロハンテープやガムテープで刺さった毛を取った後、抗ヒスタミン軟膏を塗ってください。

●毒のあるヘビに咬^かまれた場合

→ 絶対に走ってはダメ。応急処置として血といっしょに毒を絞り出した後、速やかに病院に行ってください。

●ムカデに咬^かまれた場合

→ 血といっしょに毒を絞り出して、抗ヒスタミン軟膏を塗ってください。

●植物にかぶれた場合

→ 絶対にかいてはダメ。抗ヒスタミン軟膏を塗ってください。

危険な生き物の例☠

～見かけたら静かに逃げましょう～

ハチの仲間



アシナガバチ



スズメバチ

アブの仲間



アカウシアブ



イヨシロオビアブ

毛虫の仲間



マイマイガ



イラガ

ヘビの仲間



ヤマカガシ



マムシ

ムカデの仲間



トビズムカデ

触ると危険な植物の仲間



ヌルテ



アレチウリ

成田市生き物調査（市民調査）

調査の手引き

発 行 成田市 環境部 環境計画課
〒286-8585
千葉県成田市花崎町 760 番地
電話 0476-20-1533（直通）

企画・制作 株式会社セルコ
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷 2-5-2
電話 03-3406-1724

編 集 石川和宏

発 行 日 2014.6.22.

なまえ
